

はーとふる



Vol.18 2011.10.14 発行

NPO 法人 石狩国際交流協会



★石狩からの2010-2011留学生★

柳原 匡守さん (カリハイ高校に留学
—現在石狩翔陽高校—)

カナダでは7つの家庭でホームステイをさせていただきました。この家庭でも一つひとつ違う部分がありました。共通して見えることは家族愛があることです。

私がホームステイした家庭全てが私と歳が同じくらいの男の子・女の子がいて時々親と子のケンカのようなものがありました。最後は必ず「LOVE YOU」と言ってくれて次の日からは何事もなかったかのように暮らしています。(日本にもそういう家庭はあると思いますが、ほんの一握りだと思います。)



↑留学中の柳原さん(右から2人目)と新岡さん(右から3人目)

新岡 航さん (ティンバーライン高校に留学—現在石狩翔陽高校—)

私はカナダに留学して様々な人に会い、様々な思いを感じました。一つはカナダの人々は思いやりがあること。3月11日に東日本大震災が東北を襲ったとき、会う人皆に「家族や友だちは大丈夫か?」ときかれ、会ったこともない人を心配する心意気に感動しました。

Thank you very much!

キャンベルリバー留学生からのメッセージ

もつ一つはカナダには色々な国から人々が集まっており、様々な文化や言語が見聞できます。そして皆、愛国心が強いところがあります。自分には力が少なかったと思います。最後に、私の留学を支えてくれたホームステイ部会や国際交流協会、そして何よりも両親に感謝します。

★石狩からの2011-2012留学生★



↑細川さん(中央)とシメカさんと一緒に(左から2人目)

細川 梨帆さん (石狩翔陽高校→カリハイ高校に留学中)

10月6日から学校に通い始めました。最初は、積極的にいきましたが、なかなか英語が通じず大変でした。でも次の日から友だちができ、少しずつコミュニケーションがとれるようになってきました。文法としてはおかしな英語ですが、通じた時はとても嬉しく、今よりもっと話せるようになりたいと思います。

ホストファミリーや友達ととても親切でたくさん助けてもらっています。3週間ほどしかたっていないんですが、留学する事ができて本当に嬉しいです。これからも常になんさんの方への感謝の気持ちを忘れず、留学生としての自覚をしっかり持っていろいろなことを学んでいきます。

★キャンベルリバーからの2010-2011留学生★

2010-2011 留学生★

シメカ スマートさん

(カリハイ高校→石狩翔陽高校に留学)



私の交換留学は短くなりましたが(注:シメカさんは震災の影響で早期帰国)、これまでで最高の日々でした。たくさんの方たち、私をお世話してくれたホストファミリー、そして私の留学を実現してくれた石狩国際交流協会の皆さん、すべての方々に感謝しています。

今、私はキャンベルリバーで高校生活を終えたところです。12年生高校3年生は、7か月もの間、日本のことばかり考えていたので大変でした。できるだけ時間を作って友だちやホストファミリーにメールをして、日本語を忘れないようにしていました。「書いよう」と聞くことをかねて、メニューもまた見えています。日本の音楽も聴いています。

将来はいつか、まだ決めていませんが、何かの形で必ず日本に帰るつもりです。石狩の皆さんを忘れず、帰国してからも、皆さん、本当にありがとうございました。絶対また日本へいきます。



↑2010 ぎげ祭にて

※震災にともなう原発事故の影響を受け、今年度の姉妹都市からの留学生受入は中止となりました。